

現文化会館を復旧させる場合

文化機能を備えた施設を新設

### 災害復旧工事

電源設備、冷暖房、空調・防火設備など

工期約2年

### 老朽部分の改修工事

耐震改修、音響機器、調光設備、舞台機構  
受水・高架水槽改修、防火設備、外壁改修など

追加で工期必要

**改修後もリスクは残る**

#### 老朽化

復旧・改修後は築40年超  
更なる修繕が発生

#### 維持管理

定員1,112名に対し平均利用  
215名  
年間3,000万円の赤字

#### 安全リスク

ハザードマップ見直し→今後、洪水浸水  
想定区域になる可能性高

約5.2億円  
(補助金+共済金)  
実質負担ほぼ無し

約1.1億円  
(補助金等なし)  
すべて**矢板市負担**

### とちぎフットボールセンターの残地を利用し、体育施設と複合新設(予定)

- ・複合化によるコスト削減
- ・残地を有効的に活用できる
- ・施設整備に関する調査を実施  
今後の運営方針を検討していく

※整備時期や施設形態については、今後もより良い方向性について検討を続けて参ります。

#### 新設

老朽化による  
リスク解消

#### 維持管理

会館利用実態に  
合わせてコンパクト化  
複合化によるコスト減

#### 安全性

洪水浸水想定  
区域外を候補地に選定して  
リスクを回避

**費用を抑えながら、市民のみなさまに喜んでいただけるような、新施設について検討して参ります**